

日本遺産とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけではなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

2025年現在、104件が認定されています。

日本遺産
ポータルサイト



日本遺産をPRする取組み

1 日本遺産検定

日本遺産検定は、日本遺産をより広めるために作られた検定です。

日本各地にある歴史的価値の高い文化財群は一つひとつ魅力的なストーリーを持っています。そのストーリーが日本遺産です。

本検定を通じて、日本遺産のストーリーを理解し、日本遺産を語り継ぐ人材が増えることを目指します。

日本遺産検定



2 「日本遺産 御周印・御周印帳」について

日本遺産各地域でもらえる来訪の証「御周印」を集めるための専用の帳面、それが「日本遺産 御周印帳」です。



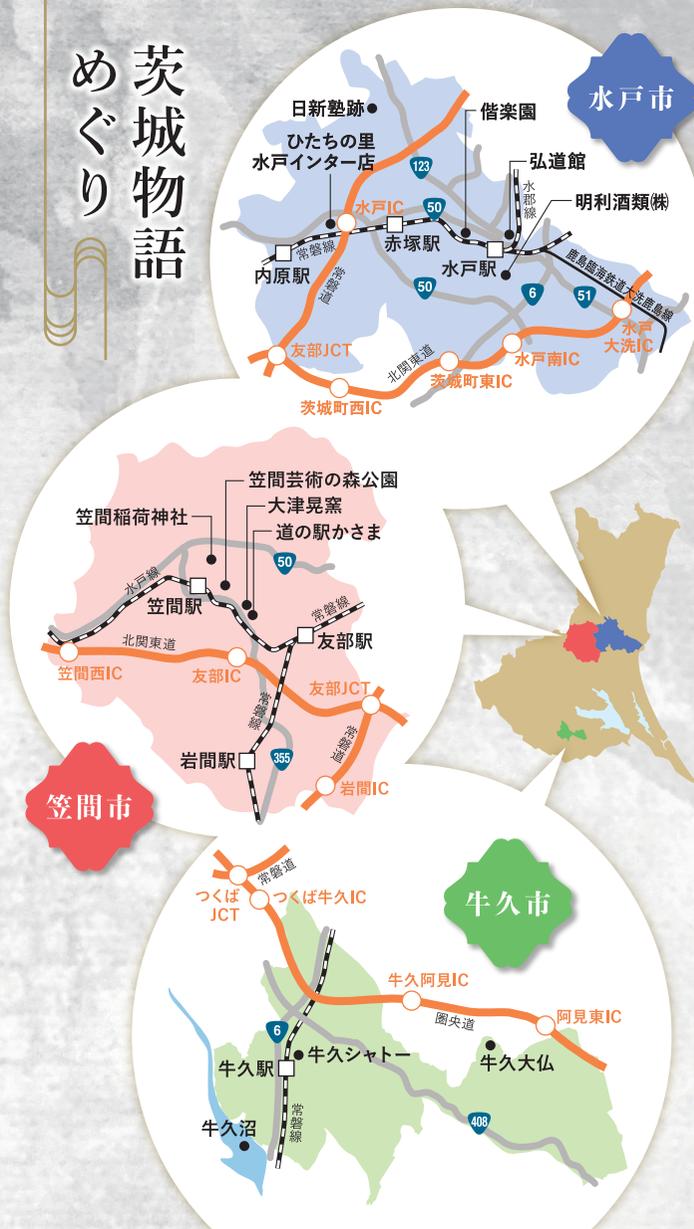
表紙「扇」 表紙「花」 中面

表紙はステンドグラスを模した和柄デザインで、「扇」と「花」の2種類があります。「御周印帳」には、朱書きで「日本遺産」の文字があらかじめ印字されており、そこに「御周印」を押すことで、完成する仕組みになっています。

日本遺産 御周印
ご案内



めぐり 茨城物語



日本遺産を旅して 茨城物語



事務局



かさましこ日本遺産活性化協議会
笠間市教育委員会教育部生涯学習課



教育遺産世界遺産登録推進協議会
水戸市教育委員会事務局教育部歴史文化財課

ワイン文化日本遺産協議会
牛久市環境経済部未来創造課文化財・シャトー活用推進室

茨城物語 6,300円(税込)

この商品は、日本遺産認定ストーリーにちなんだ3市の特産品(水戸市：梅酒、牛久市：ワイン、笠間市：笠間焼ワインカップ)を1つのパッケージにしたものです。いずれも地域を語るうえで欠かせない自慢の商品ですので、ぜひこの機会にご賞味ください。この商品を味わいつつ、往時の文化を回想すれば、ひと際感慨深い茨城物語の世界へ誘うことでしょう。

日本ワイン140年史

～国産ブドウで醸造する和文化の結晶～

国産ブドウを原料とし、日本国内で醸造される「日本ワイン」。その140年にわたる歴史において重要な地位を占めるのが山梨県甲州市と茨城県牛久市である。甲州市は地元のブドウ農家との共存繁栄をはかり、広大なブドウ畑と新旧30ものワイナリーを誕生させるに至った。牛久市の「牛久シャトー」は、ブドウ栽培から醸造までの一貫した工程を構築し、大規模な醸造体制を確立した。明治の文明開化期、国営では果たせなかったワイン醸造を、それぞれの地域の特性を生かして民間の力で成し遂げたのである。切磋琢磨して日本のワイン文化の広まりに貢献した二つのまちに息づく歴史を知れば、ワインの味わいもより深くなる。



牛久シャトー本館

ワイン

マスカット・ベリー-A
2023 A+ 赤
3,300円(税込)

2023年収穫の牛久シャトー醸造ワインです。牛久シャトーで栽培されたマスカット・ベリー-Aに二代目神谷伝兵衛の故郷・山形県産のマスカット・ベリー-Aをそれぞれに醸造した後にブレンドしました。味わいは、ベリー系のアロマとほどよい酸味のバランスがとれた、後味のすっきりしたワインです。

内容量：750ml
アルコール度数：12度
味わい：ライトボディ



【醸造所】牛久シャトー(株)

牛久シャトーは1903(明治36)年に茨城県牛久市に開設した日本初の本格的ワイン醸造場です。



近世日本の教育遺産群

～学ぶ心・礼節の本源～

我が国では、近代教育制度の導入前から、身分に関係なく多くの人々が読み書き・算術ができ、礼儀正しさを身に付けるなど、高い教育水準を示しました。これは、藩校や郷学、私塾など様々な階層を対象に多くの学校が設置された影響が大きく、明治維新以降のいち早い近代化の原動力となり、礼節を重んじる日本人の国民性として今も受け継がれています。水戸市・栃木県足利市・岡山県備前市・大分県日田市に点在する近世日本を代表する教育資産で構成され、うち水戸市は、近世最大の藩校「弘道館」、領民にも開かれた修養の場「偕楽園」、大日本史編纂所「旧水戸彰考館跡」、北関東最大の私塾「日新塾」で構成されています。



弘道館

梅酒

百年梅酒 完熟梅特別仕込
1,728円(税込)

国産の熟した梅「白加賀」を使っています。梅の香りが華やかです。
内容量：720ml
アルコール度数：14%



【蔵元】明利酒類(株)

茨城県水戸市元吉田町338番地 TEL.029-247-6111(代)
明利酒類は、江戸時代末期の安政年間に加藤酒造工場を前身に昭和25年9月に誕生しました。現在では、醸造用アルコール・清酒・焼酎・リキュール類(梅酒類)・発酵調味料・医薬部外品等を製造する酒類総合メーカーとして、製品づくりへの思いの承継や技術の発展に努めています。



かさましこ

～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～

東日本屈指の窯業地「かさましこ」(茨城県笠間市と栃木県益子町)は、窯業や統治者によって古代から同じ文化圏でした。江戸時代に入り別々の道を歩みますが、18世紀後半から再び、製陶を通じてつながり合った地域です。使い勝手のいい日用品を作り続けていたこの地は、存続の危機に陥ると時代に合わせた革新に挑み、多様な作風を許容する産地へと変化しました。自由でおおらかな環境が創造する者を惹きつけ、今では600名を超える陶芸家が活躍しています。美意識を追求し美しい生活造形を生み出す「かさましこ」は、訪れる人の五感をも刺激し、暮らしに寄り添う独自の陶文化を醸成しているのです。



練上玻璃光大壺 松井康成作

陶器

笠間焼ワインカップ
2,000円/個(税込)

3種類の色味をご用意しました。青(水戸市)：伝統的な油滴天目に青釉、緑(牛久市)：刷毛目化粧にトルコ織部の緑釉、赤(笠間市)：鉄赤と呼ばれる笠間伝統の赤釉、として各市の販売店で別々のカラーを販売しています。



【案元】大津晃窯 大津廣司(四代目、伝統工芸士)

茨城県笠間市手越68 TEL.0296-72-4323

国道355号線沿いの道の駅かさまのすぐ近くに位置し、親切な指導者のもと、ロクロ体験、手ひねり、絵付けが楽しめます。豊富な品揃えの店舗ではお気に入りの笠間焼の器がきっと見つかります。



販売店

牛久シャトー ショップ

茨城県牛久市中央三丁目20番地1号 TEL.029-896-3615



2020年6月に日本遺産に認定された牛久シャトーのオンラインショップがスタートしています。牛久シャトーならではのこだわりの商品をどうぞ。

販売店

ひたちの里 水戸インター店

茨城県水戸市加倉井町宿後415 TEL.029-253-3251



常磐高速道水戸ICから2分。お買物、お食事、新鮮農産物直売など。茨城・水戸観光の拠点として親しまれています。団体様・グループ様施設も充実しています。

販売店

笠間工芸の丘

茨城県笠間市笠間2388-1 TEL.0296-70-1313



「世界にひとつしかない器をもとめて」笠間焼、現代アート、陶芸体験、様々なアートに触れ合いながら、家族みんなで楽しむことができる体験型複合施設です。豊かな自然に囲まれた丘の上で、心癒される至福の時をお過ごし下さい。